

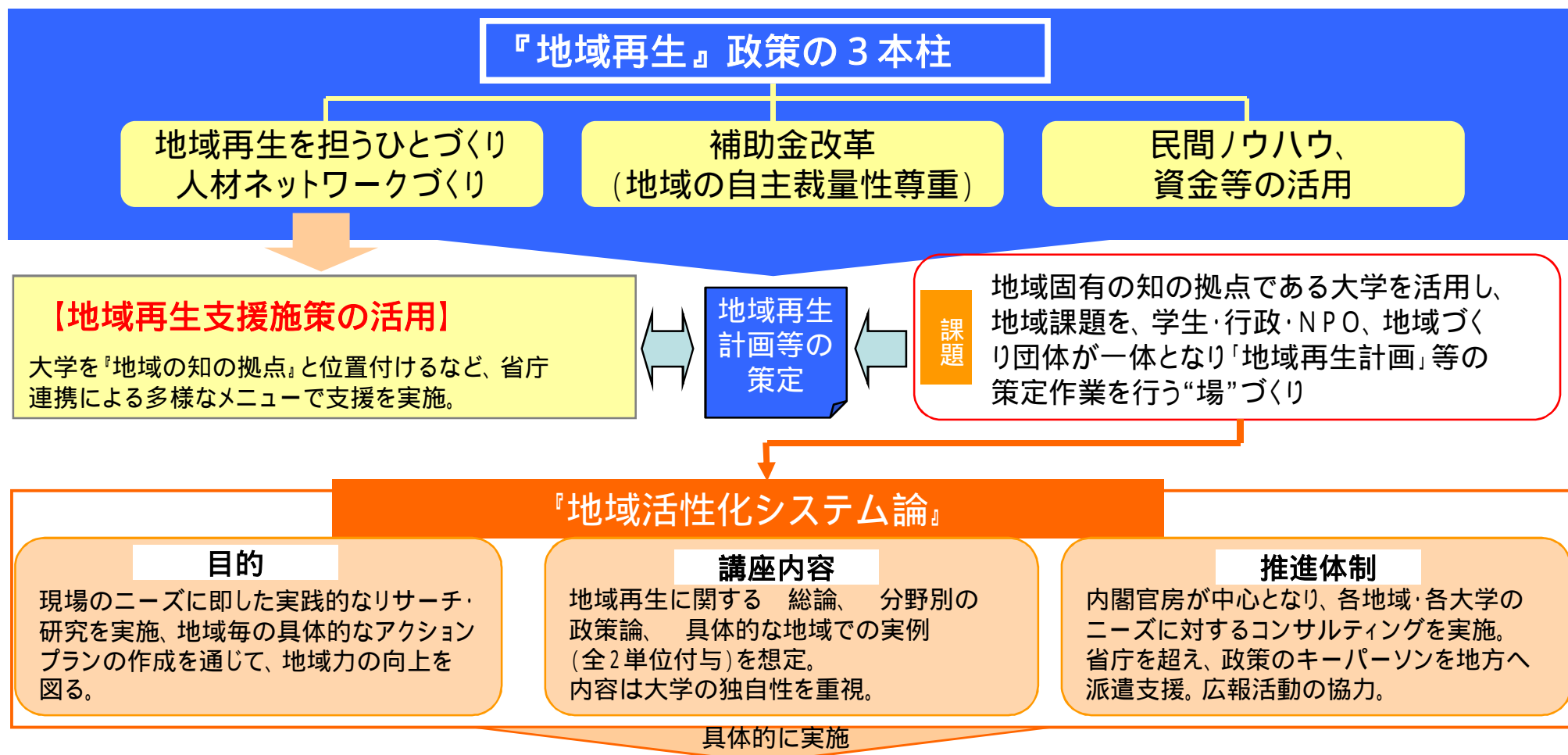
地域活性化の動向

農林水産省大臣官房政策課 木村俊昭

目 次

- 地域活性化とは？
- 人との出会い～一期一会
- これまでの体験談（成功と失敗）
- 地域と大学との連携
- 地域活性学会と地域活性機構
- 地域活性化事例
- 戦略的システムデザインによる活性化

地域活性化システム論について(平成20年度まで地域再生システム論)



<平成18年度の北陸先端科学技術大学院大学での開講を契機に、平成20年度までに25大学で展開>

* 小樽商科大学 * 室蘭工業大学 * 東北大学 * 秋田県立大学 * 山形大学 * 高崎経済大学 * 獨協大学 * 千葉大学
* 東京藝術大学 * 東洋大学 * 法政大学 * 早稲田大学 * 北陸先端科学技術大学院大学 * 信州大学 * 滋賀県立大学
* 京都橘大学 * 大阪大学 * 甲南大学 * 神戸大学 * 和歌山大学 * 島根大学 * 岡山大学 * 高知工科大学
* 立命館アジア太平洋大学 * 沖縄大学

地域活性化システム論（地域再生システム論）開講校

【平成18年度】モデル事業

北陸先端科学技術大学院大学

【平成19年度】10大学で展開

小樽商科大学・室蘭工業大学 神戸大学 島根大学 信州大学
高崎経済大学 獨協大学 法政大学 北陸先端科学技術大学院大学
早稲田大学

【平成20年度】25大学で展開

- * 秋田県立大学(テーマ:食料自給率向上と秋田県農業の再生)
- * 大阪大学(テーマ:医療・福祉、地域再生、人材育成)
- * 岡山大学(テーマ:農学と地域再生(農と福祉、バイオマス))
- * 沖縄大学(テーマ:「海」「農」「観光」による地域再生)
- * 小樽商科大学・室蘭工業大学(テーマ:観光戦略、地域ブランド戦略、ものづくり戦略)
- * 京都橘大学(テーマ:「産公民学際連携型まちづくり」)
- * 高知工科大学(テーマ:ビジネスモデルを立案しうる人材育成、地域再生モデルの定着)
- * 甲南大学(テーマ:六甲山の活性化に向けて)
- * 神戸大学(テーマ:地域活性化事例研究)
- * 滋賀県立大学(テーマ:大学連携、地域資源を活かした地域活性化)
- * 島根大学(テーマ:地域資源を活用した産業振興)
- * 信州大学(テーマ:信州の食と観光)
- * 高崎経済大学(テーマ:地域づくり論、現代の地域づくり)
- * 千葉大学(テーマ:ローカル鉄道を機軸とした地域再生)
- * 東京藝術大学(テーマ:芸術が地域にできること)
- * 東北大学(テーマ:地域社会と公共政策)
- * 東洋大学(テーマ:PPP制度手法論)
- * 獨協大学(テーマ:これからの「まちづくり」のヒントを探る)
- * 法政大学(テーマ:地域の雇用創出と観光・文化振興)
- * 北陸先端科学技術大学院大学(テーマ:バイオマス、伝統地場産業の活性化)
- * 山形大学(テーマ:地域中小企業のためのグローバル戦略)
- * 立命館アジア太平洋大学(テーマ:各国大使との地域ネットワーク交流)
- * 和歌山大学(テーマ:観光を通じての地域再生)
- * 早稲田大学(テーマ:北杜市の地域資源の有効活用)

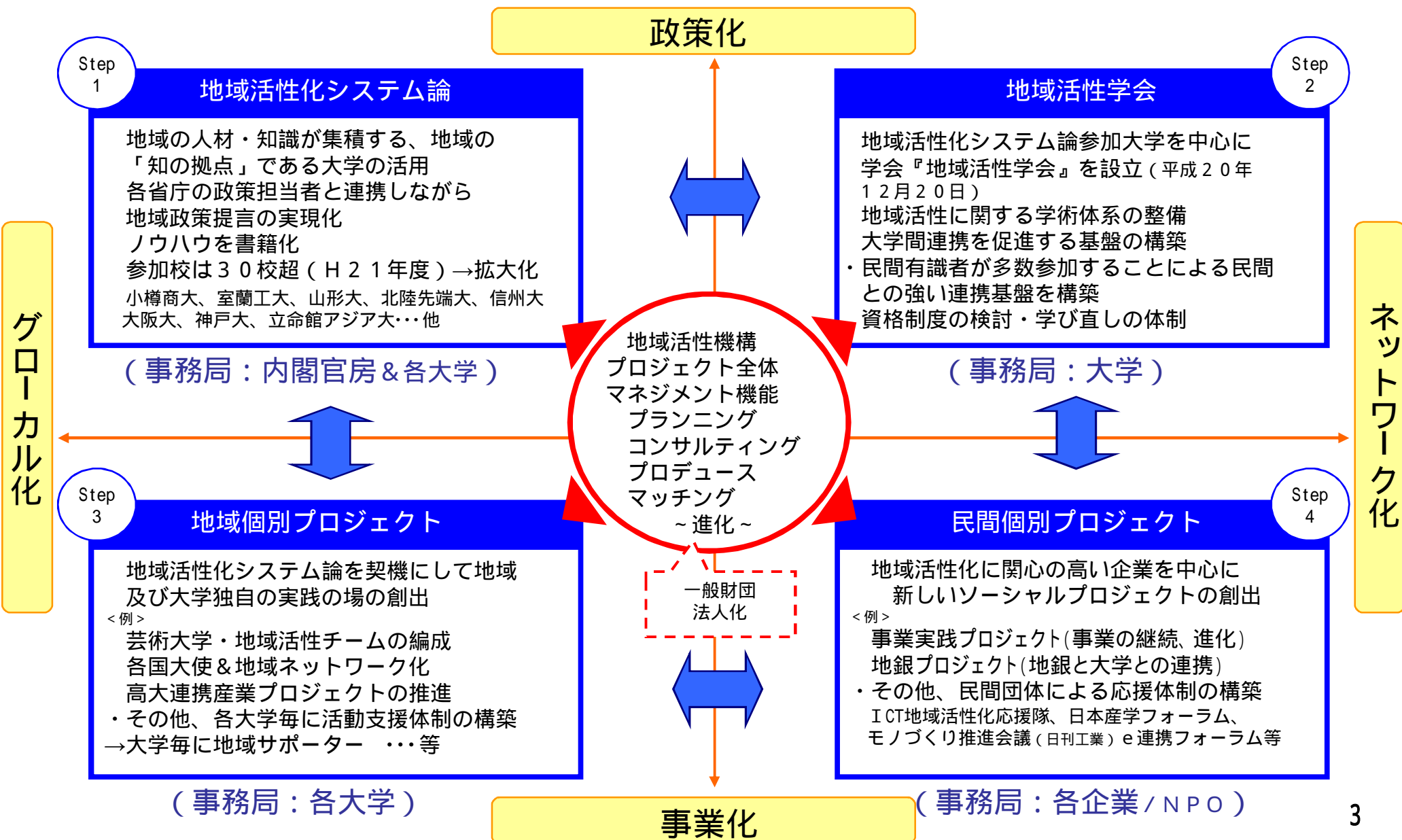


【平成21年度の新規開講予定校】

石巻専修大学、鹿児島国際大学、岐阜大学、札幌学院大学、東京農業大学、鳥取大学、富山大学、三重大学、宮城大学、明治大学ほか

大学名は50音順。18年度開講校は青字、19年度開講校は緑字。小樽商科大学・室蘭工業大学は共同開講。

地域活性化の効果的な事業展開図



地域活性化事例

日本のふるさと再生特区

(岩手県遠野市)



農業・都市農村交流
関連

「どぶろく」の製造免許の要件緩和の特例を認めるなどして、地域資源、多彩な人材等を活用し都市との交流拡大を図るとともに、地域に根ざした新たな起業を促進する。

小豆島・内海町オリーブ振興特区

(香川県内海町)



農業関連

農業の担い手不足、地場産業の停滞する中、株式会社の農業経営参入の特例を活用し、地域資源であるオリーブを、加工する企業自らが町内の遊休農地を有効活用して栽培。町の活性化を図る。

町名は認定時のもの

全国化済

海士デパートメントストアープラン～「選ばれし島」まるごと届けます～

(島根県海士町)

地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)【厚生労働省】



雇用対策関連

時間と距離という離島物流のハンディを解消するため、CAS(キャス・細胞を壊さない冷凍新技術)を活用した農水産物保存加工の新産業を興すことで、雇用を確保、定住者増加による島の再生を図り、次世代への持続可能な発展を目指す。

豊後高田「昭和の町」づくり計画～「昭和の町」を核とした商業と観光の一体的振興を目指して～

(大分県豊後高田市)
地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)【厚生労働省】



雇用対策関連

観光サービスを企画・提供する人材の育成により、中心市街地の街並みの“古さ”を逆手にとった「昭和30年代」をコンセプトとする「昭和の町」づくりに取り組む。

農業・農山漁村の潜在力

耕作放棄地

- ・我が国の耕作放棄地面積 **39万ha**
- ・我が国農地1haあたりの農業総生産額(H18) **101万円**
- ・**10万ha**の耕作放棄地で営農を再開した場合
新たに**約1,000億円**の農業生産が見込まれる

エネルギー

- ・農地利用が困難な耕作放棄地のうち、仮に**4万ha**(全耕作放棄地の1割に相当)に太陽光パネルを設置した場合
約240億kwh / 年の発電量 (**約650万世帯分**)
- ・今後、開発可能な水力発電所・・・**約2,700地点**
458億kwh / 年の発電量 (**約1,250万世帯分**)
- ・この他、農業用水路等に未利用の水力エネルギーが存在

バイオマス資源

- ・我が国では年間**3億2千万トン**のバイオマスが発生
(稲わら、家畜排せつ物、食品廃棄物、林地残材 等)
- ・これらを全て発電に利用した場合の電力量 **約600億kwh**
約1,600万世帯の年間電力消費量に相当
- ・さらに、原油に換算すると **1,600万kl**
我が国の原油輸入量(**2億4千万kl**)の**6.5%**に相当

バイオテクノロジー

- ・我が国のスギ花粉症患者は**約3,800万人**と推定
これらの人々が医療費や 医療関連費(マスク・目薬等)として
約2,300億円を毎年支出
発症を抑制する花粉症緩和米には、市場から大きな期待
- ・民間企業の推計では2009年の世界の医薬品の市場規模
は**8,200億ドル(約82兆円)** (成長率:**4.5~5.5%**)

情報通信インフラ

- ・ブロードバンドの普及状況
サービスエリアの **98.3%** 利用率 { (町村) **24.5%**
世帯カバー率(全国) (都市部) **47.9%**
- ・携帯電話エリア内人口(全国) **99.8%**
農山漁村では条件不利地域の情報通信インフラの整備と有効な活用の拡大への期待

食品廃棄物

- ・我が国の食品廃棄物**約1,900万トン**のうち、**約1,400万トン**が未利用で焼却又は埋立により処理。これらを全て焼却したと仮定すると、**約3,500億円**の焼却費用
肥料・飼料利用の拡大による焼却・埋立費用の大幅な削減が可能

農商工連携の推進

農商工連携の強化 → 地域経済の活性化

農林漁業者

栽培技術等

それぞれの経営資源

商工業者

ビジネスノウハウ等

結びつけ
(マッチング)

高付加価値の
新商品開発
新サービスの提供

経営の改善

支 援

・ 出会いの場づくり
・ 専門家の派遣

・ 試作品開発
・ 実用技術開発

・ 生産拡大
・ 販路開拓

農商工連携の事例

地場産小麦から高品質な麺を開発【北海道江別市】

農業者 - 製粉業者

- ・ 地元農家が栽培した小麦で麺を開発。
地域ブランドとして、年間約300万食
を売り上げ



減農薬栽培農産物を活用した観光集客【福岡県岡垣町】

農業者 - 旅館業者

- ・ 旅館業者が、**新サービス**として地元農家の減農薬栽培農産物をジャムなどに加工・販売、
自然食レストランでの**新メニュー事業**を開始。
- ・ 年間20万人の観光客



健康に良い高機能タマネギを地域限定生産【北海道夕張郡】

農業者 - バイオベンチャー - 販売会社

- ・ 地元の大学発ベンチャーが、健康に良い新品種のタマネギを開発し、地元農家が生産。
- ・ 地域の販売会社が**地域ブランド**としての商品開発や販路開拓。首都圏で販売を展開



「医食同源」をコンセプトにした地場食材のブランド化【長野県伊那郡】

農業者 - 食品加工会社

- ・ 地元農家が生産する有機米、減農薬野菜や食品加工品を**自然健康食品ブランド**として商品展開や販路開拓。
- ・ ブランドとしての顧客リストは、10万人超



エミュー(脂肪の活用) 東京農業大学オホーツク校(網走市)

脂肪



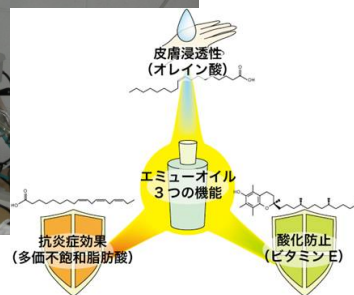
機能性研究

エミューオイル
商品開発・販売



脂肪酸組成研究

精製法研究



戦略的システムデザインによる活性化

努力は必ず報われる
何度もチャレンジして
仲間とチャンスをつかむ
→ 奇抜なプレゼンテーション & 味方を巻き込む

仕事を成功に導く力
諦めずにできることから
自分のプランを実現
→ 誰とやるか。場を与え、賛同メリットを説く

時間と労力をムダにしない前提
信頼感あるキーパーソン
としっかり連携
→ 決裁権を持つ人がその気でないとは進まない

巻き込む人を楽しくさせる
最適化を踏まえインパクト
ある手を打つ
→ 一部のパフォーマンスでは解決にならない

設計力

関係する人が利を
得られるロジック
= 人が動くしくみ
< マネジメント力 >

日本の組織を機能させるヒント
部分最適化ではなく
全体最適化が肝要
→ 断片化した縦と横のネットワークを繋ぎ直す

今、取り組んでいること
戦略的な地域設計で
まちを活性化
→ システムデザインマネジメントの成功事例づくり